

会 員 卓 話

平成 13 年 8 月 28 日

【ガバナー補佐訪問】

岐阜県第 1A 分区ガバナー補佐 宮地 正直

図らずもガバナー補佐になりました宮地正直です。お受けした時はカバン持ちでも何でも協力すると言われましたが、未だに何もありません。他クラブの訪問に関しましては丁重な出迎えをされたのですが、中クラブに関してはまったくそういう事は有りませんでした。ガバナーに提出する訪問クラブの感想を優、良、可、不可とありますが、今までのクラブは全部優にさせて頂きましたが、このクラブは可ぐらいとさせて頂きます。



これまでガバナー補佐になって研修会、協議会、勉強会等本当に色々なところに出させて頂きましたし、今週も 4 日間ガバナー公式訪問前の訪問をさせて頂いています。岐阜クラブの訪問時に篠田会長より「一番ガバナー補佐らしくない人」と紹介していただき困惑しました。

今、ロータリーはクラブ存続が世界的規模で危機の状態にあります。それは会員の減少で、5月の月報でも岐阜県は 30 人減っています。日本で 97 年に 13 万 1 千人居たロータリアンが、2001 年には 11 万 8 千人になり、4 年で 2 万 7 千人の減少をしています。理由は不況で会社の倒産、存続していても利益の減少が出ている。企業数はどうかというと日本で 91 年には、中小企業が 459 万 3 千あったのが、99 年には 422 万 8 千と 365 万減っているで、我々が勧誘できる企業が減ってきていますし、高齢化が進み自然減があります。

また、IT 化とグローバル化が問題で、これによって世界がより早くより広く進んでいて、戦後最大の変革期を迎えています。距離と時間の制約を解き放つと言われた IT 化が、益々都市に人口が集中しています。岐阜の人口は 2025 年には今、210 万 8 千人が 178 万 4 千人で何と 32 万 4 千人減ります。岐阜市の人口は 40 万 2 千人から 39 万 5 千人と 7 千人減り高齢化も進みます。こういう変化の中でロータリーは、小さなエリアで異業種交流を通

して、お互いの企業の理念を学び、ロータリアンの経験を語り合う事によってお互いの資質を高める事が出来るかが問題で、特に今の若い人がそういった事に興味を持てるかも問題です。

こういった中でガバナーより皆様に対する伝達事項があります。会員増強とロータリーの財団活動を増やす事です。50人以上のクラブは純増で5人増やしてくださいというのと、第1A分区で新しいクラブを1つ増やしてくださいということです。2005年にロータリーが100周年になります。この2630地区で過去5120人居たロータリアンが現在は4715人で405名減っているので、地区予算に関係するので2005年までに5000人にしたいということです。

それと女性会員を増やして欲しいということで今、岐阜で35人、三重で37人、合計72人の女性会員がみえますが、それを是非100人以上にしたい。そして良質なクラブを保持する為に、重要な要素は男女の人員で構成されると言っておられますので、今後ともさらなるご協力をお願い致します。